

『庄内っこ日和』

令和3年7月21日

庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当学園の理念や方針と重ね合わせながら、園外保育での子どもたちや先生の様子を、皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。

このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、年中組もりのこっこ（夏）の様子をお伝えしたいと思います。

今回は、保育ボランティアに3名のお母さんがご参加下さいました。本当にありがとうございました。

今回のもりのこっこのねらい：・他児や保育者と一緒に自然や生き物に触れ、川遊びを楽しむ。

当幼稚園の「もりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川、自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っております。(庄内の保育の根っこp37参照)

庄内の保育の根っこ



②念願の自然溢れる川遊び

夏は、やっぱり川遊び。初めは流れの強いはじめての川に怖がる子どもも多かったですが、遊びが進むにつれて、子どもたちは、楽しんで遊んでいる様子でした。

カニを見つけて捕まえたり、強い流れの箇所を先生と一緒に沢登りしたりと、暑い夏にしか出来ない、体験をしました。

雷も鳴ってきたので、すぐに川から上がりましたが、短い時間でも川遊び出来た子ども達は、大変満足そうにしていました。



もりのこっこ年中（夏）

わっぱるで川遊び

①わっぱる入所式&室内でふれあい遊び

わっぱるに到着後、まさかの雨降り。子ども達は、石塚先生と一緒に室内でふれあい遊びを楽しみました。

ライフジャケットを着たままする、ふれあい遊びはとて新鮮な経験でした。

楽しむ気持ちが、天気にも届いたのか、雨の間に少しだけ晴れ間が見えたので、そのあと20分程度だけ、川遊びをすることにしました！



レスキュー
わっぱる入所式
ごっこ



ホールでふれあい遊び

③お昼ごはんいただきます

お昼ごはは、また施設内で食べました。施設内に入るとすぐに雨が降り出しました。そんな中で、温かいお汁と愛情たっぷりのおにぎりを食べ、心も体もほっかぽかになった子どもたち。

たくさん遊んだ帰りは、子どもたちも疲れていたのか、バスではぐっすり眠っていました。どんな夢を見たのかな？

川遊びの時間は短かったですが、もりのこっこを通して、自然と全力で向き合う事の出来た一日になったと思います。

